

羽西

ゆき

題字 長澤 茂

第9号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 小山 勇吉
編集人 中村 1525
港北区新羽町(541)0869

(一) 中ノ久保町町内会長 米山滋
今年は、曆の判断では内外の経済と社会情勢が極めて荒廃する年です。

このような不透明な世相の年に

一人暮し老人花見の会

民生委員 高尾満枝

四月八日、心配した前夜の雨もあがり、まさに花見日和。女性民生委員六人と新羽町内会の老人福祉推進委員の山内さんのお手伝を得て、新羽民生委員協議会で初めて、一人暮し花見の会を開きました。場所は近い所と「うことで新羽緑道公園」。雨を心配して自治会館をお借りしました。出席者は六人でそのうち二人車椅子。家までお迎えに行き、雨あがりの公園の中を初めての事ではらはらしながら桜の木の下を一めぐり……。花

の下に敷物をと云う事は無理でした。花よりだんごで自治会館へ。中に家から持つて行った桜を生けて。抹茶の接待から始まり昼食。弁当だけでは味気ないので、香のもの、汁物、煮物。それにデザート、話もはずみ六人の民生委員のチームワークもさること乍ら、運良く隣の部屋で、踊の稽古が始り、昔懐かしい踊りの輪の中に加えてもらひ楽しく無事に終りました。来年度はもつとにぎやかに出来たらと願っています。



(二) 新羽町内会長 桑畠良雄

町内会の役割は、①仲良しクラブ、②地域発展の政策策定団の二面性を持つていると思います。町内には、十人十色の考え方もあり、二つのバランスが基本になるが、いずれにしても、高齢化、核家族化の中で、一人暮しのお年寄りが多く、相手の身にたつた思いやりが大切だと思います。

町内仲良く協力し合い明るい、元気な街づくりをしたい。

明るく挨拶できる新羽つ子

新羽小学校長 菱山知夫

「子どもは、環境で育つ。」といわれます。縁に閉まれ、明るく整備された学校、そして子どもを愛し、学校教育に深い理解のあるPTA・地域の方々。この環境があつてこそ、新羽小の子ども達は素直に明るく育っているのだと、痛感しています。

朝、子ども達が登校してくると昇降口で、「おはようございます」と、元気なあいさつをしてくれます。さて今日も一日頑張っていこうという気にさせるとともに、相手の気持ちをなごませてくれます。こう挨拶できるのは、そのままで家庭の姿ではないかと思っています。

帰りも、「さようなら」と気軽に声をかけてくれる素直な、人なつこい、明るい元気な新羽小の子どもたち。そんな子ども達を家庭地域、学校ぐるみで心温かく見守り、より健康で、心豊かで、しかもたくましく育ってくれるよう、努力していきたいと思います。

梅の話

新田地区センター館長 藤巻わかは

ここ数日雨が降り続き、鶴見川の水位も上がつてきました。セントーの庭にも茜色のつづじが咲き、梅の木も、青い実をつけています。

この梅の実をみると、五十年前、敗戦の年、苦しみの中で、この梅で命をとりとめた思い出が甦ります。女学校二年の夏、さつま芋と雑炊の毎日、勤労奉仕の連日でした。体力も弱り、毎日の空襲で明日の命をも分からぬ日々を送っていました。その頃、法定伝染病の赤痢にかかり、夜も眠れない苦しさをされていました。一生の中であれほどの苦しさは、二度とないと言つても過言ではありません。薬も注射もなく、寝ているだけでした。母が梅干しの大箱をめから食器棚からおちよこを出して、まつ赤な梅酢を注ぎ、寝ている私を抱き起こし、真剣な顔で「これを飲めば命が助かるかも知れない」と一人ごとを言いながら梅酢をとり出しました。

「この梅酢は、腸の細菌を殺すかもしれない」と一人ごとを言いながら梅酢を飲みながら「助かりたい……助かりたい……」の一心で飲んでごらん!その時の私は、食べ物を口にすることができない位弱っていました。やつとの思いで梅酢を飲みました。朝・昼・晩と鼻をつまんで飲みながら「助かりたい……助かりたい……」の一心で飲んでいました。二週間たち三週間たつうちに、意識がはつきりして一ヵ月後には、お腹の痛みも薄らぎはじめました。髪の毛は全部抜け、やつと歩けるようになりました。「ああ、これでやつと助かった。梅酢のおかげ」。今も梅の実る時期に思い出します。

「梅は、私の命の恩人だ……」。看病した母は、九十才で健在です。

「いじめ」と友情

新羽地区社会福祉協議会会長

小山 勇吉

子供の「いじめ」が教育界で問題化し、地元の小・中学校では対策に取り組んでいます。

ふくしの和



この中で、家庭での教育の大切さが呼ばれています。親と子の会話や、両親の日常生活の姿……等が、子供の中へ「相手の立場を氣づかう、人の心を考える優しさ、平和な温かい態度」を育てるならば、「いじめ」の芽など生まれてこないのではないかと言われています。

この意味から前号では、「家族」がテーマでした。今回は、「子供の友達・友情」を課題にしました。子供は遊びによつて育つ。と言うが、友達との遊びでいろいろな事を覚え伸びていく。次くことの出来ない遊びが、何故「いじめ」に変ってしまうのでしょうか。

新羽中学生に「友情」について書いてもらいました。「遊びと友情」とお願いしたほうが、良かつたのではないか?……と、一度反省しましたが、次に代表作を載せました。

明るく、元気で、頭が良く、何事にも積極的で、わからない問題もやさしく、詳しく教えてくれる親切な友達。



私は、こんな友達がいたらいいなとは、目が見えなかつたり、耳が聞こえないという、身体に障害がある友達がいたらしいと思う。そして、福祉に対する心を持つて、共に活動していける人。そんなことは、何かほかの形に代えて、話をしたり一緒に遊べたりする人。

あつても、何かほかの形に代えて、話をしたり一緒に遊べたりする人。そして、福祉に対する心を持つて、共に活動していける人。そんなことは、何かほかの形に代えて、話をしたり一緒に遊べたりする人。

私の友は、理想とする親友とは違う。私の理想的フレンドは、互いの欠点を指摘しあい、さっぱりしつき合いが出来る人。また、かた苦しくもなく、互いの知識が同じことである。

私は、とても仲よくなんでも言えるような関係や、喧嘩をしても、すぐあやまって、ずうつと仲のよい友達で、いたらいいと思います。

また、男子でも同じようにしたのです。

☆ ☆ ☆

無理せず、自然にふるまえる。私は、そんな友達関係を作りたい。いくら一緒にいて楽しくても、金利は最近低減化し、基金をより気を使っているようなら、それは本当の楽しさではないと思うからです。

感謝申し上げます。

当初五年を目安に賛助会員運動はスタート致しましたが、社協事業は拡大する一方、地区社協の財源としても定着しつつあり、他方金利は最近低減化し、基金をより一層充実活用していく必要性に迫られています。

地区社協関係者、重なる慎重な協議の結果、平成七年度以降も新たに運動をすすめていくことになりました。

新羽中学校
評議員 忍田 松三 様
心よりご冥福をお祈り致します。

☆ ☆ ☆

明るく、元気で、頭が良く、何事にも積極的で、わからない問題もやさしく、詳しく教えてくれる親切な友達。

本年度より再スタート

港北区社会福祉協議会賛助会員

一今迄のお礼と継続のお願い

◎スポーツ大会 於・新羽中学校
七月二十三日

◎五四一三二五八 堀内
八月二十六日

◎キヤンブル於・このま沢
八月六・七日

◎フェスティバル於・新羽中学校
五九二一三二七三 飯島
五三一六九三〇 白岩
九月三日

◎相撲大会 於・新羽小学校
五四一三一五八 萩原
十月二十二日

◎健民祭 於・新羽中学校
五四一三一五八 堀内
十一月二十二日

◎五九二一三一五八 萩原
五月三一六九三〇 白岩
九月三日

◎五九二一三一五八 堀内
五月三一六九三〇 白岩
九月三日

社協役員の異動

四月から一部異動がありましたのでお知らせ致します。

副会長 桑畑 良雄

理 事 秋本 清一
(中之久保町会)

今迄広報委員としてお骨折り頂きました堀井先生、渡邊さん、吉森さんが退任されました。有りがとうございました。

新たに
菱山 知夫 先生
内山 由江 (子供会)

新羽地区行事予定
賛助会費の半分が、地区社協へ還元されます。地区と致しましては、各種団体への助成、広報の発行、子供会そして新入学児への黄色帽子の贈呈、在宅援護等の事業を行っております。

ご協力をよろしくお願い致しま

が委員になりました。